

平成19年2月22日発行

第4号

発行：鹿児島県志布志市議会
編集：広報等調査特別委員会
〒899-7492
鹿児島県志布志市有明町并倉1756番地
TEL 099-474-1111(内線311)
FAX 099-474-0363



志布志市

市議会だより



<http://www.city.shibushi.lg.jp>



平成19年1月1日(旧松山町)、3日(旧有明町)、5日(旧志布志町)にそれぞれの町で、二十歳の門出を祝う成人式がおこなわれました。

今年の志布志市の新成人は、松山町では63名、有明町では149名、志布志町では173名、合計385名が社会人として出航していきました。

- 総務委員会での質疑・答弁……………2
- 文教厚生委員会での質疑・答弁 ……3
- 産業建設委員会での質疑・答弁 ……4
- 一般質問に17議員登壇 ……5～21
- 議員控室……………22
- 傍聴してみませんか ……22

編集後記……………22

TOPICS

12月11日～14日の4日間にわたり一般質問が行われ、17名の議員が行政執行などについて質問しました。





平成18年12月定例会は、12月4日から22日までの19日間開かれ、一般会計・国民健康保険特別会計等・補正予算・条例など議案36件を可決、陳情書の5件のうち3件を採択し、違法伐採問題への対応強化を求める意見書・リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため政府への意見書提出を求める陳情書の意見書を国に提出しました。

「さんふらわあ」志布志航路存続に関する決議を採択・旧3町の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定・平成17年度志布志市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定をいたしました。

一般質問は11日から14日の4日間にわたり、17議員が行政執行に対し、農業・港湾・観光・環境・福祉・スポーツ振興・教育問題などについて質問しました。

総務委員会での質疑・答弁

志布志市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

〈原案可決〉

Q 平成19年4月1日から施行とあるが、稼働することからでもつながらぬのか、利用する件数は。

A 146の手続きが出来ることが必要であるが、市で選択する。現在、利用できるシステムを窓口関係課と調整中である。

Q 公的認証を行うためには、住民はどいうやって住民カードを使うのか。

A 印鑑登録と同じやり方で、住民課の窓口で登録する。住民カードの中にICチップがあり、個人認証を受け

ることが出来る働きをもちょうじになる。

志布志市半島振興対策実施地域産業開発促進条例及び志布志市過疎地域産業開発条例の一部を改正する条例の制定について

〈原案可決〉

Q 本市に関係がある改正部分はどの部分か。

A 港の関係では飼料工場、市街地では製造業、主に食品製造業が関係する。

一般会計補正予算（第6号）

〈原案可決〉

Q 市民税課税支援システムを2セット増設した理由は。

A 1セットでは市内全域の相談会場を巡回するには、人員的にも非効率で、運用スケジュール的にも無理なため、2セットを増設し志布志・松山・有明地区を巡回し、事務の効率、簡素化及び的確な課税客体の把握を図る。

Q 職員の定員適正化計画の削減は。

A 退職、採用関係を推移し、5年間の目標として12.5%の削減を計画している。

Q 食品関連団地の造成等に8,000万円をついやしているが。

A 現在工業団地として用途変更をし、1社が進出している。今後も企業誘致に力を入れる。

Q 蓬の郷民宿村地盤補強工事の必要性は。

A 地盤が軟弱のため、安全面から300万円かけて地盤補強をする。

Q 税制改正により、控除がなくなり、増税になった人達の苦情はないか。

A 特に高齢者の方々の負担の控除がなくなり、増税になったが苦情はない。



文教厚生委員会での質疑・答弁

志布志市手数料条例の一部を改正する条例の制定

(原案可決)

この条例は、社会保障を要する者の戸籍に関し、証明の交付を申請される方が、無料で法施行後、サービスを受けられるように改正するものである。

Q 具体的にどのような人が対象になるか。

A アスベストの被害者や海外で厚生年金を受け取る人等が対象となる。

志布志市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

(原案可決)

この条例は、乳幼児医療費の助成の手続きの仕方を「償還払い方式」から「自動償還方式」にするものである。

Q 受診から振込み入金になるまでどれくらいかかるのか。

A 2〜3ヶ月くらいかかるが予想している。

鹿児島県後期高齢者医療広域連合の設立について

(可決)

この条例は、医療費の負担を、高齢世代と現役世代の負担を明確にし、財政運営の責任の明確化を図るため設立するためのものである。

Q 内容はとうなっているか。

A これまで老人保健で対応していた75歳以上の後期高齢者を対象とした、県内全市町村が加入する広域連合である。主な目的は後期高齢者医療にかかると事務運営、適切な医療給付等である。

志布志市伊崎田保育所条例を廃止する条例

伊崎田保育所の指定管理者の指定の期間の変更

財産の無償譲渡

財産の無償貸付

(可決)

以上4件は伊崎田保育所を民間の法人に無償譲渡するための議案である。

Q なぜ伊崎田だけそんなに急ぐのか。

A 伊崎田は民間委託をされており、保護者の理解も得られ児童の混乱もないと思われる。他の園については保護者の理解が充分得られていないため1年延ばしたところである。

Q 多様化する保育ニーズに対応するためのことだが、公立ではなぜできないのか。

A 延長保育や休日保育、特別保育の実施は公立では難しい。民営化を前提として職員数も減らしてきており、人員不足もある。

Q 契約不履行の場合はどのように対処するのか。

A 契約締結後、保存登記をするが、万一に備えて条件付仮登記をするので、契約不履行があった場合は所有権が市に帰ることになる。

志布志市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

(原案可決)

Q 保険証の印刷は何枚くらいか。

A 2万2千枚を予定している。来年8月ごろ配布の予定である。

一般会計補正予算(第6号)

(原案可決)

Q 「小中学校のあり方検討会」の内容は。

A 学校やPTA、地域の代表や学識経験者等25名で構成し、規模や配置のあり方等を検討していく。なるべく早く報告できるといい。

Q 給食センターについてはPFIも検討してはどうか。

A できれば有利な起債を活用したいが、PFIも検討していきたい。

Q 生活保護世帯はどれくらいか。

A 398世帯、550人で人口1,000人に対して15.6人である。なお県の平均は14.9人である。

Q 児童デイサービスの補助の内訳は。

A 10月1日から528円が754円に引き上げられたが、その分も含めて補助するとのこと。

Q 資源ごみの売り払い金はいくらか。

A 空き缶が890万円、空きびんが40万円、古紙40万円、雑金属70万円、ペットボトル40万円を見込んでいる。

Q 後期高齢者医療広域連合の負担金は年間いくらかになるか。

A 志布志市の負担は年間650万円くらいになる。

陳情関係

リハビリテーション打ち切りの実態把握と改善のため政府への意見書提出を求める陳情書を探求すべきとした。

産業建設委員会での質疑・答弁

曾於南部地区国営造成施設管理体制改革促進事業「操作体制整備型」の事務の委託について

〔可決〕

基幹水利施設等の維持管理を行っていくための運転、操作の業務に関する技術等を、改良区職員が習得するための事業の規約を定め、大崎町へ委託する。

字の区域変更について

〔可決〕

県営中山間地域総合整備事業に伴い、松山町泰野地区の字の区域を変更する。

一般会計補正予算(第6号)

〔原案可決〕

Q 農地の売買料旋料の単価はいくらか。

A あっせんの謝金は一件当たり、成立の場合一万円、不成立の場合五千円である。

Q 焼酎廃液の処理会社サンケイ工業の事業計画の縮小の原因は。

A 焼酎廃液がいろんな用途に利用できるため、焼酎会社もコストの安い方へ流れ、協定書を結んだ量が集まらなくなった。

Q 災害復旧の補助にからぬ所(40万円以下)の対応は。

A 補助金要項を定め、40万円以下のところは、8割補助で対応するところですが、本年度に限っては10割補助で対応する。

Q 松くい虫の被害が、塩害、風害の松に影響を及ぼさないか。

A 松くい虫の被害は、枯れ松に発生するものでなく、生育の良い松に発生する。塩害、風害の松に影響を及ぼすことはない。

Q 志布志運動公園の階段の所の手すり設置は国の許可がいるのか。

A 国有財産に固定物を整備する場合は、国と協議を要する。

Q 県道柿ノ木志布志線の進捗状況は。

A 現在測量設計済みである。用地補償費、工事費も付いているので、用地買収が済んだ所から3月に入札、工事に入る。

Q 大性院地区の災害計画を地元住民に説明してほしい。

A 早い時期に実施する。

Q 北大原の交差点から創備学会会館前までの道路改修工事の計画と、地元住民への説明を早くしてほしい。

A 交差点からの改修工事については、片方によって計画をしている。説明については、関係のある住民に説明している。

Q 改修工事と高規格道路との関連はどのようになっているか。

A 整備計画の中に入っている。

水道事業会計補正予算(第2号)

〔原案可決〕

災害復旧及び関連するものの補助金額が、確定したことで補正する。



『志布志の水』として出荷(アクアネットジャパン)

Q 附帯事業収益は、水会社(アクアネットジャパン)だけの収益か。アクアネットジャパンは順調にしているか。

A 余剰水の供給は比較的順調に推移し、会社も順調だ。収益は水会社の方であり、収入は契約とあり入っている。

の健全化を求める採択要請についての陳情書を採択すべきとした。

違法伐採問題への対応強化を求める意見書の採択要請についての陳情書を採択し、意見書を国へ提出した。

陳情関係

森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業



特例債起債の予定総額は



立平 議員

立平利男議員 県内合併18市町の特例債活用について、7月の新聞社調査によると、半数以上が上限額半分以下、高い所で75%、低い所で16%、豊後市が24%、志布志市を含めて5市町が起債総額が未定の発表があった。志布志市が13.9億円の特例債上限額となっている。本市の17年度の決算状況は歳入で、自主財源56億円、構成比率39%、依存財源12.6億円、構成比率61%となっており、そのうち市債2.25億円起債している。

り有利な、辺地債、過疎債等があるが、今後の特例債の起債予定総額、事業施策を示せ。

まちづくり計画の88億円が目安

市長 合併特例債については、合併後のまちの一体性の速やかな確立を図るため行う公共的施設の整備事業、二番目に均衡ある発展に資するために行う公共的施設の整備事業、三番目に市の建設を総合的かつ効果的な総合整備事業に活用できると考えている。

合併前のまちづくり計画では、88億円の活用を計画しており、この金額が一応の目安となる。

その活用、具体的方策については、過疎地域自立促進計画及び現在策定中の振興計画に基づき、まちづくりの効果のある事業に活用していきたい。



各イベント会場に女性用トイレ増設を!

大変な賑わいだった。

しかし、女性用トイレを見るに20人位の人が並んでいた。また、心算だと祭り有明でも女性用トイレは列ができていた。せっかくの祭りが不愉快な状況となるおそれがある。早い時点で増設を早へきだと思おうが。

不便のない施設を検討する

市長 市民の方々の利用状況を把握して観光バスについては港湾関係者、管理者に働きかける。祭り等において、市民の方々が楽しみに来られて、トイレのことで不便なことがないような形の設置を検討する。

市民が望んでいる合併効果

問 特例債を使って、市民が望んでいる合併効果、合併して良かったと思う事業、施策を市民の責任を受けた初代市長として示せ。

3月議会で示す

市長 今後の振興計画

女性用トイレの増設を

画そして従来の過疎計画に基づいたものが主なものになろうかと思うが、次の議会で具体的に、新しいまちづくりについて考えを述べたい。

問 志布志のみなと祭りが観光バスで行われて



推進すぎる保育所の民間移管



迫田議員

迫田正弘議員 19年4月からすべての公立保育所の民間移管についてスケジュールが示されたが、推進ではないか。また、保護者等の理解や同意は得られたのか。

民間移管目標年次を

20年4月へ変更したい

市長 旧志布志町では、平成15、16年度に民間への移管が行われた。新市成立し、この計画でも民間委託の推進が位置づけられ、市の行政運営がすべて民間委託に切り替えたい。ただ、それを踏まえ、取り組みを始める。10月に民間委託の計画を決定し、

同意に向けて説明会を行った。ある程度の理解が得られたと判断し、アンケートを実施したが、結果は賛否両論あり、当初の目標日時では準備期間が不足することや市民・保護者等のさらなる理解を得るため、平成20年4月

日へ移管目標日を変更した。

問 移管先は内定しているのか。

白紙の状態だ

市長 6保育所の委託先を募集したが、一つ



みどり保育所(松山町)

を除いて応募があった。目標年次を変更したことで、白紙の状態である。

借地の畑かん水利用について

問 利用権設定農地について借地期間内だけの水利用はできないか。

国・県の

意見を聞き検討する

市長 現行の管轄東部土地改良区では、休止・廃止に対する規定がない。利用権設定の問題、農業者高齢化に対する後継者不足、連作のきかない作物等への水利用対応も考慮して、今後、国・県の意見を聞きながら検討したい。

中・長期的な予算規模は

問 平成19年度の予算

編成方針と、志布志市の中・長期的な予算規模をどう見込むか。

将来的な予算規模は150億円程度が望ましい

市長 本市の財政は、国からの税源移譲により、市税の増収が見込まれるものの、所得課与税の廃止や新型交付税等による地方交付税の減少により歳入の伸びは期待できない。一方、扶助費などは著実に増加しつつあり、19年度は18年度より厳しい財政状況となる。歳入対策として、市税の徴収強化。未利用地の活用方法の検討。新たな財源として広告掲載料の検討。

歳出は、PFI等の導入検討。事業収益性の確保。事業の統合。新規事業に係る一般財源要求額は廃止事業の範囲内とする。経常経費は18年度6月補正予算総額の90%、市単独事業分は18年度の範囲内とする。国・県補助金の削減される事業へ

の市債の返済はしないなどを、19年度の予算編成方針とする。将来的な10年後の本市の予算規模は、150億円程度が適正規模と考える。

副市長を複数置くのか

問 地方自治法の改正に伴い、新年度から助役に代えて、副市長をおくことになるが、複数の副市長をおく考えがあるのか。また、収入役制度が廃止になるが、会計管理者は、

今の段階では検討中である

市長 副市長の定数は、合併間もない時期で様々な事務調査がある中、組織の規模や、事務事業を助産し、県内の他市の状況や経費的な面など、一人制がいいか、二人制がいいか、研究している段階である。収入役は廃止され、一般職の会計管理者を置く。

濃厚飼料の給餌と過肥対策を急げ



立山議員

立山 幸議員 近年まで、4〜5カ月までは粗飼料で腹づくりをし、その後、セリ市まで濃厚飼料で腹づくりをする給餌方法になっていた。また、過肥子牛が多くなっているが、どのような指導をしているのか。

**子牛育成
マニュアルを改正**

市長 5カ月までは濃厚飼料中心で、6カ月以降は粗飼料を多く与えるのを体系に平成17年度改正、郡内用牛振興協議会が指導、また、畜産課農業改良普及センターにおいて、市内で実証指導中である。



一家庭一家訓

る。

同時に、過肥防止対策も指導中である。

優良牛確保対策は

問 北海道の購買者が、金幸号の雌牛を高い価格で購入し、地元生産農家は購入が困難であるようだが、優良牛の確保は大丈夫か。

優良種畜

保留導入事業で対応

市長 最優秀市内産10万円、市外産7万円、優秀牛3万円を補助している。10月まで最優秀牛で70頭、優秀牛で84頭市内に確保された。JA肉用牛繁殖雌牛導入事業でも21頭導入されている。

バドック牛畜補助基準緩和を

問 生産農家の約8割が、9頭以下の農家である。要綱では10頭以上の農家となっているが、9頭以下の農家でも、5年後は15頭以上の増頭計画者には補助できるように基準緩和すべきと考えるか。

生産農家の意見を踏まえて

市長 畜産の環境保全及び省力化、飼養頭数の維持拡大に大きく貢献しているので、生産農家の意見等を十分踏まえて取り組みたい。

一家庭一家訓の実施状況は

問 鹿児島県のPTAが取り組んでいる一家庭一家訓の実施状況は55%を超えている。本市の小中学校の取り組み状況は。

全ての小中学校で実施

教育長 一家庭一家訓は、家庭の教育力の向上を図ることを目的とした、県PTAの重点運動の一つである。子育ての最終責任は親にあるという、家庭が果たすべき役割の認識のもと、基本的な生活習慣や学習習慣、あるいは思いやりの心や命を大切にすることを育んだ家庭教育の家風づくりである。

それぞれの家庭で、家訓づくりが定着するようにしたい。

食育について

問 食育の基本は、知育、徳育及び体育の基礎である。食育は心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎である。学校、家庭での取り組みについて伺いたい。

知育、徳育、体育のバランスのとれた食育を推進

教育長 又那科学省の委嘱を受け、地域に根差した学校給食推進事業の取り組み、保護者試食会、おにぎり大作戦推進事業等、家庭や学校、給食センター、地域等連携を図りながら取り組みを実施している。

スローライフの実施を

問 合併地域の価値を再認識する機械づくりとして、老人クラブ会員、女性団体連絡協議会に、自然、歴史、文化施設等の市内めぐりを実施する計画はないか。

条件の許す限り実施

市長 市全体を広く理解していただくため、互いに交流を深めながら、くつろいだ気分の中で郷土の良さを再発見する学習機会や、心るさを愛する心の醸成に努めていただくため、許す限り実施したい。

さんふらわあ…撤退するのか?



鬼塚 議員

魅力がないと言ったが

どこをさすのか

鬼塚弘文議員 原油の高騰等の理由で、志布志から撤退すると報告があった。船会社は宮崎に比べて志布志港は、魅力がないと言っているが、どこをさすのか、さすことによって、市長は思われるのかな。

魅力がないとは思わない

市長 将来的にアクセス道路、畑かん等も充実していくので、会社側が言うような、魅力のない港ではあり得ないと思う。積極的に存続についてお願いを申し上げている。

存続を願う署名数は

問 市内、市外、関西において、存続の署名活動が実施されたが、結果は

どうだったか。

多くの皆様に

協力をいただいた

市長 市内自治会が2万1,000名、各イベント会場が7,000名、関西地区ふるさと協議会が4,688名、合計、決起大会まで3万2,696名である。

存続活動にいくらの

財源が投資されたか

問 撤退問題が発生して、今までの費やした額は、

市長 県の影響調査、啓発用のほり、懸垂幕等の費用として約4百万円である。

今後の活動は

問 今後ともあきらめず存続活動を続けること事だが、どのような活動を考えているのか。

市長 国及び県に働きかけ、県と協議しながら話めていく。

「さんふらわあ」の物流面での経済効果

	生産誘発額 (百万円)	就業者誘発額 (人)
志布志港全体の経済効果(a) (倉庫、運輸、港湾サービス関連)	24,208	1,420
「さんふらわあ」の物流面での 経済効果(a×30%)	7,262	426

九州地方整備局志布志港湾事務所が行った志布志港開発効果調査

撤退にともなう

税金等の減収は

問 「さんふらわあ」が志布志港接岸に伴うトン税、固定資産税、志布志の水の買込み額を示せ。

市長 撤退すると関連会社等の税金を含め、約一千万円の減収になる見込み、船舶給水料金は約1,658万円で

志布志サッカーフェスティバルの近年実績

	2003	2004	2005
参加校	58	44	60
のべ参加者数(人)	5,052	3,720	6,365
のべ宿泊者数(人)	2,190	1,777	3,098
総費用(千円)	15,207	11,881	20,847

注)参加校は重複を含む。総費用は宿泊代、井当代、送迎バス、懇親会費等(資料 志布志サッカー協会)

船会社から県に対し

条件提示があったのか

問 12月7日の県議会において地元県議が、「さんふらわあ」存続についての一般質問をおこない、知事としての考え方を質した。知事は答弁として「船主から極めてビジネスな話として、県に話がかかっている。よって県としてどのような条件を提示できるか詰めている」と答弁している。市

長として、今後、知事にとどのようなトップセールスを求めているのかな。

知事と共に

存続活動を続ける

市長 知事がそのような形で県議会で表明して頂いたことはありがたい。知事と共に地元で出来る支援等を含め、会社側に要望を届けたい。



「さんふらわあ」存続決起大会

本市の農業振興と施策について



毛野 議員

毛野 了議員 今、わが国の農業施策が正念場を迎えている。補助金のほかさまざまな農家の助成制度が、この6月に農政改革関連法が国会を通過成立し、農家の所得を補償する直接支払い制度が、スタートする。この制度のわらひは、担い手（認定農家）と呼ばれる大規模農家への育成と集落営農の組織化（へいり）である。一方、高齢者、零細農家の切り捨てにつながるのではないかという懸念もある。そこで市長は将来農業者並びに認定農家524名（後継者）が農家をもって21世紀を農業の時代にしていくために、このような支援施策を考

子、孫、女性を きめた担い手育成を

市長 わが国の農業構造は高齢化で後継者不足に伴い農業従事者の減少が続いている。農業振興を図るため、特に後継者育成対策を重点的に取り組むこととし、本年度から後継者のいない65歳以上の中核農家の子、孫を対象として農業農村家業再生事業を立ち上げるところである。意欲と能力のある女性を含めた担い手の育成、確保を加速化させる。また、予算、金融、税制等の各種施策、経営安定対策で担い手確保の強化、さらに、農地の利用集積を推進し制度的に位置づけられた認定農業者の育成をさらに進めていく。

具体的な案を示せ

問 市長は皆々、国務連

を中心とする背後地の農業を活性化させ地域全体を盛り上げることだが、認定農家の育成、支援を具体的にこのように進めるのか。また、19年度当初予算で予算化する考えはないか。

現在もいろいろな事業に取り組んでいる

市長 認定農家の経営改善計画が着実に達成できるように低利の政策資金、機械施設等の減価償却費の割増特例、補助事業の優先採択、農地利用集積の優先、農業者年金の助成等図られている。この支援をしながら育成強化に努め19年度予算措置は検討中である。

県道改良の進捗状況と今後の取り組み

問 県道、柿ノ木・志布志線は施政方針でも重点



県道柿ノ木志布志線の現況

施策として位置づけられた重点路線であり、県、市道は、地域の産業経済発展は基より地域間の交流を図る上からも、欠く事の出来ない重要な役割を果たす。この路線は合併した効果を市民がいち早く実感出来る最も関心の高い事業であり、早期着工、完成に全力を傾注されたい、その意気込みは。

県に強く要望し

早期完成に努力する

市長 指柄の路線は合併後の重点路線である。また、県も重点路線に指定し、特段の配慮がされた。全体事業費3億円で19年3月に一部着工の予定であり、今後関係機関と連携をとり早期完成に向け努力する。

遊休地の活用と企業誘致の取り組み

問 産業の振興については、地場産業の振興を図るため、施政方針で地元貢献できる進出企業の立地促進、優遇制度を充実し、優良企業の立地促進を図るとあるが、現況を伺う。

企業誘致に努力する

市長 志布志市企業誘致促進補助金の交付要項を定めた。就任以来、さまざまな企業の方々と接触し、この地の有利性、魅力等を話し、企業誘致に努めている。今、種まきの段階で、もうすぐ芽が

出てくるものが幾つかある。今後引き続き努力する。

人脈を生かせ

問 本市には大変な財政難の中、基金を取り崩して取得した多額の遊休地を抱えている。松山地区の尾野見工業団地、志布志地区の大迫食品関連団地、夏井のゴルフ場跡地等々である。未だ企業誘致が目に見えてこない現状だ。全国の優良企業との太いパイプと豊富な人脈を生かし、この遊休地の活用解消と健全財政確立ならびに、わが市の産業振興と活性化に努められないか。

市長 県、市、企業立地懇話会、鹿児島県の東京大阪事務所や企業との情報収集交換に努め、パンフレットを作成し、郷土会等から情報を得ながら官民一体で取り組み、私も誘致可能な企業には積極的にトップセールスとして取り組んでいる。今後最大限の努力をする。

市内見学で交流促進を図れ



岩根 議員

教育長 教育委員会としても各分野の専門家の協力や観光ボランティアの育成、広報活動にも力を入れながら全体の充実を図っていきたい。

家事、育児支援の充実を

問 ファミリーサポート事業に産前産後の家事や育児の援助まで、範囲を広げて対応を検討する考えはないか。

需要が高まれば検討

市長 少子化対策、子育て支援策の一環として、来年度にファミリーサポートセンターを設立するための準備をしているところであり、現在「まかせて会員」15名が研修を終えたところである。最初の段階では家事援助までは考えていないが、要隘時、需要が高まれば検討し

市長 地域のことをまづ知ることで地域づくりの原点であると考えているので、来年度に「志布志探検ツアー」なるものを企画したい。

探検ツアーを 来年度に計画

ていきたい。

認定こども園への 取り組みを

問 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「認定こども園」について、県の体制が整った段階で市として取り組む考えはないか。

また、山重幼稚園をこの認定こども園という方向づけは考えられないか。

県の状況をふまえて検討

市長 従来保護者の就労状況により利用する施設がどちらかに限定されていたものを、制度の枠をこえて両方の良いところを生かしながら新しい仕組みを作ろうという観点から生まれてきたのが認定こども園である。十二月の定例県議会に関連する条例が提案中であるの

で、審議状況をふまえて市としてどのような取り組みができるか検討していきたい。

教育長 県の状況をふまえながらメリット、デメリット

リットや本市になじむかどうか等も考慮しながら検討していきたい。

自殺予防対策を図れ

問 県内の交通事故による死者は昨年100人であったが自殺者は450人を超えていたとのことである。従来、自殺は個人の問題ととらえられていたが、今

年10月に自殺対策基本法が施行され、その中で「地方公共団体は国と協力して地域の状況に応じた施策を策定し実施する責務を有する」とある。市の現状と対策を示せ。

保健所との密な連携で対応

市長 市では心配ごと相談、障害者自立支援法に伴う相談事業、介護保険法に伴う総合相談業務等で民生委員や地域包括支援センター職員、市職員が窓口で対応している。今後も業務内容の周知を図りながら内容を充実させていきたい。川薩保健所でのケア、ナース養成講座等を開き自殺防止に取り組んでいる例もある。市としても保健所と連携を密にし、さらに自殺防止に取り組んでいきたい。



熊野神社



松山城址



大蔵寺



市の水は安心、安全な水か



丸山 議員

丸山 一議員 志布志市の水道は、安全かと疑問を持っている市民が多い。オアシス水環境研究会によると、市内の河川とその流域の湧水調査では、硝酸態窒素が3から10であり、水道水は希釈しても66mg/lから83mg/lである。その値は国内はもとより海外に於いても群を抜いて

いるが、安心安全な水なのか。

安心・安全に

使用できる水である

市長 水道法により水質基準が定めてあり、水質検査計画によりすべての水源及び区域で実施しているが、全ての基準値をクリアしている。

森山水源地での

ボーリング調査の

結果と見直しは

問 県の水源開発診断調査事業によるボーリング



森山水源地

調査で、将来どの位の水源確保になり、大迫水源地を利用しなくても済むようになるのか。

将来5千トン確保したい

水道局長 志布志の上水道利用量は、平均8千トンの日量であるので、5千トンを森山水源地で、残りを大迫水源地の浅井戸でまかない、希釈して供給していきたい。

森林環境税条例の適用拡大を

問 この税の利用促進はどの様な状況か。

市長 NPOオアシス水環境研究会による国際の森周辺と岳野山への広葉樹の植栽、野神小のケナフ栽培、森林学習、木工体験など体験学習をした。

問 19年度からは、畑かんも始まり土壌汚染もいっそう進むと思われるので、森林環境税を官民一体となって取り組む考えはないか。

市長 市の公有林を対象に植林、下払い等を通じ、やすらぎの森事業に取り組んでいく。

飯山・通山一号線の改良は

問 国道220号線より新庁舎へのアクセス道路は、どのように進めていくのか。

完了まで5年程度必要である

市長 吉村・押切線と宇都宮・志郷1号線との間の135メートルを18年度より2車線化し、全体的に5か年位かかると思う。

野井倉開田の中にある3号水路についての認識は

問 3号水路は、今時、めずらしい水路であり、その維持管理について大変苦労している。その対策はどうか考えているか。

市長 基盤整備事業に取り組み、その中で改修で対応する。

輝北分所の今後の取り組みは

問 南部消防署からの田之浦方面と、北部消防署からの尾野見方面へは、25分以上かかるので、その中間に輝北分所を持つてこれはないか。

市長 豊屋市から肝属消防組合へ編入したい旨の申出があり、関係する3市1町・各消防組合と具体的な協議を今後していく。



消防輝北分所

本庁機能を志布志町へ移す考えは



小 園 議員

小園執行議員 志布志市が誕生して、もうすぐ一年という状況である。松山町や志布志町地域の商店街をはじめとした現在の状況をどのように受け止めているか。

売り上げ減の業種もある

市長 合併により、市議員の有明町への異動、議会をはじめ各種会合の減少によりいずれの地域においても飲食店業を中心に売り上げの減がみられる。このようなことから今回設置した商工観光戦略会議において商工会、観光協会、既存商店街、消費者等の立場で検討していたが商店街の活性化や魅力ある店舗づくりを進めていく。

合併効果を

どう感じているか

問 市長は合併の効果が徐々に現れていると評価しているが、なかなかこのころに現れているか。

新しい歩みが始まっている

市長 新市は3町独自の歴史と文化と伝統を背負ってきた地域が一つになり、旧志布志町を中心とした経済圏に成りつつある。志布志町の事業所を中心とした雇用関係等を考える時に、今改めてそのことを思うところがある。そのような中で行政の区域があり、それぞれの地域の独自性を保つ

本庁機能の見直しは

ていたが、この一年間でそれらのものが少しずつなくなり、新しい市の市民としての意識が醸成されてきていると感じている。そのような共通の理念、あるいは雰囲気というものを醸成して、さまざまな団体が新しい街について自分達の果たすべきは何かという歩みが始まっている。こうしたことが合併の効果と考えている。

問 経済の中心地は志布志町地域でこのへりか。



旧志布志町役場

そのことを認識した上で現在有明町に本庁舎があるが、見直しをして、今ある商店街やそこに付随している人達をしっかりと守るために本所機能を志布志に移して人の配置をしっかりとやる。そうした考えはないか。

しばらくの問、今の体制で

市長 この支所の機能、総合支所の機能、本所の機能については、合併協議会で十分議論をさせていたのだが結論であるので、しばらくこの体制でさせていきたい。

医療費の伸びの分析は

問 国保会計の医療給付費が17年度決算でも高い伸びを示している。合わせて重症化しているとのことだが分析はどうか。

脳疾患等三大疾病である

市長 国保の場合一番多いのが癌、次に脳神経系、肺炎、くも膜下出血等の脳疾患が三大疾病となっている。本市でもこの病

気について予防対策が必要と考えている。

脳ドック等の補助は

考えられないか

問 医療費の伸びの大きな原因になっている癌と脳疾患について脳ドックやPET検査に補助をして医療費の抑制対策を図る考えはないか。

今後検討する

市長 財政的なものも考慮して今後検討していきたいと考えている。19年度からは脳ドック、PET検査等を実施して三大疾病である癌、心臓病、脳疾患を予防できるような現在検討中である。

PET検査とは、がんが糖分を大量に消費する性質を利用し、糖に特別な光を出す物質を組み込んだ薬剤を注射すると、がんの病巣に多く集まり、光を出すようになる。その光をカメラで撮影してがんを発見する。

志布志市の活性化への将来像は



八久保 議員

八久保 議員 「さんみらわあ撤退」は、いろいろいな、解決しなければならぬ問題を示唆している。さんみらわあ撤退の原因追及と、存続へは、共存共栄が必要である。今後の対応を示せ。

市長 撤退の原因については、採算の悪化と九州圏と大阪との物流を確保しつつ収益改善を図るために留航航路開設を計画したことの説明である。今後は、市の航路存続協議会、県の志布志航路存続協議会と共に会社側と存続へ向けて対応していきたい。

問 さんみらわあの存続とスポーツ振興で志布志



新若浜埋め立て地にスポーツ施設を!

教育長 優しいさと厳しみのバランスが掛けければ子

問 語々の教育環境の悪化についてどのように捉えているのか、また、今後の取り組みを示せ。

教育環境の悪化について

市長 志布志はスポーツ振興の場となる地域であること認識している。総合的にムードが盛り上がりてくれれば言葉をして、さらなる飛躍を高めていければと思う。

問 スポーツ振興によるさんみらわあ利用促進を図りつつ『日本のフロリダ』『スポーツ観光都市』の宣言もすべきと思うが。

助役 県の魅力ある観光地づくり事業の導入や多方面から検討して行きたい。



白砂青松を生かした公園に!

問 「郷中教育」を取り入れ、地域や学校で子供達を育てる取り組みをしたらどうか。

教育長 古き良き時代を思いおこしながら、ふるさとの味を取り入れながら進めていかなければならないと思っている。

供をだめにする。志布志の教育改革については、良いところは残し、改めるべきところはしっかりと見極めて、道県地域自立促進計画の中で教育振興の具体的な計画を立てている。

少子化対策について
問 道県化対策とは、人口増加対策である。市の道県地域自立促進計画の中にもっと明確に示すべきである。志布志市としても、もっと人口増加対策に取り組み。

市長 人口増加対策はまちみらわあに於ける重要課題である。住んで良かったと思える形成が必要である。併せて企業誘致や雇用の促進、担い手育成子育て支援など、総合的に施策を展開することが人口増につながって行くと考えたい。

「志布志市」撤退について



市長 長岡 議員

長岡耕一議員 「さんふらわあ」志布志大阪航路

存続運動を展開して感触はどうか。また、撤退した場合の経済的影響は金額にどのくらいか。もし撤退した場合、志布志港に対する国県からの補助金等に変化はないか。

厳しい状況と認識している

市長 会社側としては当初表明された時と現在において、何ら変わりはない形である。大隅半島の農畜産業や観光業を中心とする本県の産業界全体に大きな影響を与える事になる。今後、人・物・金あらゆる手段を講じて、県や関係団体と連携を図りながら存続に向け

取り組む。経済的には、合計91億1200万円の影響を受ける。撤退後の志布志港に対する国、県からの整備費等は、現在整備中の新若浜地区において影響ないと考えらるが、「さんふらわあ」の取扱貨物量は志布志港全体の約5割を占めることから、撤退となれば、新たな整備計画や改修事業等の予算獲得が、厳しい状況になると思われる。

地域振興について

問 地域活性化住宅を、志布志の農村地区にも建設できないか。森山地区ふるまび（こけい）委員会から出されて進行中だったが、町営住宅建設計画はどうなっているか。

総合的に

判断しながら進める



潤ヶ野小学校体育館

市長 旧有明町地域では、住宅建設、維持管理に民間活力を導入した一部PFI方式により、4団地42戸の住宅を賃貸方式により借り上げを行い、地域住民の提供して置かれている。今後、新規の住宅建設、宅地分譲については地域のきま

潤ヶ野小学校体育館は

まなこーズに、地域特性を考慮し民間活力の導入と建築手法を総合的に判断しながら進めていきたい。

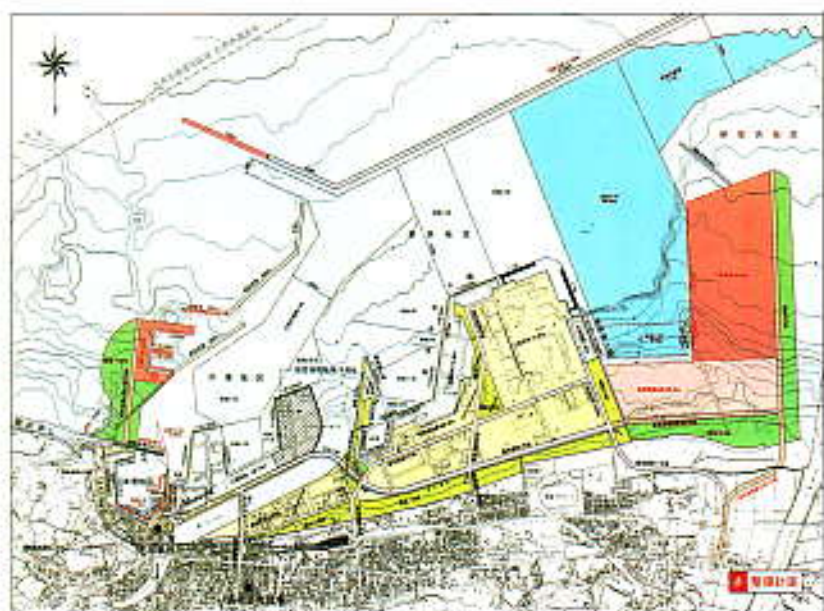
教育長 耐震調査は小学校16校中43棟、中学校6校中18棟の現地調査を終了し、現在は報告書作成中である。年明けには結果が示されるものと思われる。

市長 現在市道で4か所、林道で3か所通行止めを行っている。復旧状況については、樽野大越線2か所が19年3月末、大迫百尾ヶ尾線が1月末に完了予定である。松山地区の馬場駅前線は11月末に完了予定であり、大性院地区については早急に検討しなければならぬと認識している。灌漑の災害復旧は完成しており、県も被害を軽減するために改修を実施するとの聞いている。また、この地区は農地災害復旧工事の災害復旧事業採択を受け、年内に発注予定である。さらに、水田畑の災害復旧については、11月に災害査定が終わる年内に1-5地区、年明けに74地区を発注し早期完成を目指す。

災害復旧について
問 夏の水害による道路の全面通行止めは何か所か。その災害復旧計画、進捗状況はどうか。また、水害の大きかった大性院地区の復旧はどう考えているか、併せて水田畑の復旧状況はどうか。



海釣り公園の整備について



志布志港港湾整備計画の中に海釣り公園を

飲酒運転に関わる処罰は
問 市議員の飲酒による交通違反、交通事故に関わる懲戒処分に関する基準は定めてあるか。
平成18年11月30日に定めた
市長 飲酒運転については、酒酔い、酒気帯びに關わらず、免職とする。また、酒気帯び、酒酔い運転車両の回着した場合は停職、または免職とする。



悲劇を招く飲酒運転

金子光博議員 志布志市としても、若者男女や家族連れの人達に楽しんでもらえる海釣り公園の整備を進めていく考えはないか。



金子議員

市長 本港地区南側に船溜まり計画の早期着工と合わせ、海釣り公園といった海洋性レクリエーション施設としても活用できるよう、県、港湾管理者に強く働きかけているが、今後もしっかり働きかけていく。

実現化に向けていきたい



すずれが浜の風景(旧志布志町)

県道柿ノ木志布志線の進捗状況は
問 県道柿ノ木志布志線の巨場ヶ尾地区の工事は、まだ始まっていないようだが、進捗状況はどうなっているのか。
平成19年3月に部分的工事の着工見込み
市長 地元選出の県議とも十分連携をとりながら、皆さんの熱い思いを背に受けて、今後、この区間の整備については取り組んでいく。

農地未整備地の対応策は



宮 城 議員

宮城義治議員 志布志市全体の農地の未整備地区の面積と今後の対応策は、高齢化が進み後継者不足で地域にあっては耕作放棄地も随所に見受けられる。農業をする者にとって、農地は大事に保存しなければならぬが、野井倉開田のは場整備について市長はどの様に考えているか。

同意のある地区から整備する

市長 志布志市全体の農地の未整備地区の面積については、水田429ha、畑で927haである。有明地区は今後、野井倉地区を県営事業で同額の高い地区から整備を進めて行く。志布志地区においては、県営中山岡地域総合整備事業で取り組む。野井倉地区においては、特に専業農家地区



ほ場整備事業

いう事で、地区の方々の住民の暮らしが成り立っているというふうな事である。地域の中で指摘のような非常に悪い場所が狭い進入道路が悪いという事は思っている。

消防団員の確保は万全か

問 消防団員の確保をするために、今後の対応策について市の消防団員を勧誘する場合に非常に地区では苦慮している。現在の団員の中には会社員であり、自営業であり、

団員の皆さんも大変苦慮されているようなが、市長は団員確保をどのようになら考えているか。

確保に苦慮している

市長 この指摘のようにここ数年消防団員の欠員状態が続いているが、これは全国的な傾向だ。

市職員を団員に

問 旧志布志町では町職員が団員として活動して来たが、市民の生命と財

産を守る為にも市職員を市消防団員として加入させる考えはないか。

市職員の加入促進を図る

市長 事業所等の特性を生かした独自の加入促進をしていかなければならないと考える。市内の事業者への協力要請、地域住民や市職員の消防団加入促進については、市の消防幹部会等と一緒に頑張って積極的に取り組んでいく。

女性職員を管理職に

問 志布志市の女性職員の管理職登用について市長の考え方は。

人材に合わせ

積極的に登用する

市長 基本的には、係長職、課長職等の登用については、男女の区別なく正当な人事評価をもって行うべきと考える。地方分権の時代を迎え、また、男女共同参画社会を実現していく為には女性職員の能力は重要な戦力であ

り、その能力を最大限に活かしていく必要があるものと考えている。現在、課長職には女性職員がいない状況だが、リーダーシップを発揮する女性職員は積極的に登用を検討していきたいと考えている。

先生方の市内居住の促進を

問 児童・生徒のいじめと不登校については、ひとつには家庭での書生があると思つ。学校側であったとしても、家庭以上の子供をいじめや不登校から守ることは大きな責任だと思つが、私は先生方が地域が市内に居住してもらう事が、いちばん願つたところではないかと考える。子供達もいつでも会えて、相談等もしやすくなると思つが、教員長の考え方は。

居住を促進する

教員長 志布志市の教育が先生方に委ねられている事は十分認識している。今後とも機会あるごとに、校区内、市内で居住をしてもらうように努力する。

保育所の民間移管は、公立の存続も言め対応すべき



福重 議員

福重彰史議員 公立保育所の民間移管が示され、保護者や地域に激震が走っている。民間ありきで、旧町の考え方や各園の実情、実態がわからないまま、取り組むのではないが。

20年4月1日に目標変更

市長 旧町での取り組み、合併協議会での方向性、新市まちづくり計画を踏まえ方針を打ち出し、説明会を開催してきているが、時間的制約や保護者の理解に更なる努力が必要と判断し、20年4月1日から目標を変更しては

慎重に対応すべきである

問 新市まちづくり計画には、公立の統合等も出ている。この計画は10年間を目途に定めてあり、十分時間をかけ、公立の存続も含め慎重に対応すべきではないか。

不親切だったと

反省している

市長 市民の目標をモットーにしている。スケジュール的に市民に対し、わかりにくい、不親切な流れだと反省している。今後十分に理解を得られるように取り組みたい。

郵政事業について

問 管内郵便局の再編計画はどのようなものか。また、影響

については。

市長 内之倉郵便局の集配業務が廃止される。現在代表の方々への説明を行いチラシを配布予定である。廃止の場合、職員の出張や時間外窓口が廃止されるが、特に影響はないと思う。

地域での役割は大きい

問 今後他局も対象になる可能性がある。局が地域で果たしてきた役割は大きい、しっかりした対応を取るべきだ。

確認していく

市長 地域に影響がないように確認していきたい。

築道の整備について

問 築道柳橋、三福々尾の進捗と予算の内訳については。

新年度工事着手

市長 8月地元説明会、11月測量完了、12月から2月にかけて用地取得の予定である。11月に事業費追加が確定し、19年3月に工実施の見込みである。内訳は用地費取、建物補償で工事着手分はほんの一部で、繰り越され新年度着手と聞いている。

10年経っても出来上がらない

問 今年の子算で見ると、最終的には新市まちづくり計画が終了するまで10年後にも出来上がらない。今後も協力を働きが

けていくとね。

今以上に協力を要する

市長 特別に配慮を願うよう、今以上に要請を重ね、早期完成を目指していきたい。

生活環境整備について

問 一般廃棄物最終処分場の現状と今後の見通しは。

20年以上は埋立て可能

市長 平成17年度は10年度と比較して80%減で、今後20年以上は埋立て可能ではと思う。

ポイ捨て対策について

問 マチマチで口の汚さしにくりに向けポイ捨て禁止条例の考えは。

マナーの機運や

高める必要がある

市長 心の持ちよきや地域の誇りを持ちたい。

加入率を高めよ

問 集落排水事業の加入率と一般会計からの繰入額はいくらか。また、何%の加入で収支はとれるか。

加入率を高める必要がある

市長 全体の53・2%で繰入は17年度で1億7千万である。また、86%の加入が必要である。

加入促進に

補助を出す考えは

問 加入促進が進まない限り繰入が続く、期間限定、上限額を決め補助を出す考えは。

抜本的な対策を講じる

市長 多額の繰入がある。提案のあった形でできるか、抜本的な対策を講じていきたい。



スクールカウンセラーの 役割を強化せよ！



鶴 迫 議員

一人の心に届く指導が
大切で、教育相談は大変
重要な役割をもちている
と思う。

鶴迫京子議員 今年の一年間の世相を表わす漢字として「命」が選ばれた。いじめによる自殺など教育を取り巻く問題が多く取沙汰された。本市における教育相談体制の整備はこのように図られ、また充実させ、子供たちの心をこのように育てようとしているのか。

ひとりひとりの

心に届く指導が大切！

市長 学校、家庭、地域一体となり積極的に取り組むべきものと認識し児童、生徒の心に寄り添い届けようとするべく取り組んでいる。

教育長 市の事業で2名の教育相談員を配置し、市内25校の教育相談活動にあたり、県の事業では志布志中学校にスクールカウンセラーが鹿屋から年に25回来校し、生徒のカウンセリングや職員のカウンセリング研修に取り組んでいる。スクールリンクサポート事業では志布志心れあい教室の指導員による訪問指導を学校との連携のもとに実施している。

心の教育相談センターの立ち上げを図れ

（仮名ハートセンター）

問 本市独自の事業として活動の本市在住のスクー

ルカウンセラーを中心専門にスタッフを一人所に集め一元化体制でやる。情報調査、収集、発信、訪問相談、パソコンや携帯でのメール相談、現状を把握し、他機関とのネットワークづくり等機動力があり、誰にもどこにも相談できない子どもや保護者に個別にすぐ手を差し伸べるのができると、かけこみ寺的なハートセンターを早急に引き上げられないか。

現実問題として

先だつものが必要

市長 教育委員会と相談しながら今後検討させていきたい。

教育長 ハートセンターのネーミングはいいが、先だつものが必要。パソコンを利用するアイ

ディアは研究の余地がある。現在やっている事業の充実と見直しが先かなと思う。パソコンが25校に導入され、グラウンド整備なども進んでいるので、要望はしてみるがむずかしいかもしれない。

100年後の子供たちの為に「朝ごはん条例」の制定を！

問 青森県鶴田町で「朝ごはん条例」が制定された。①朝ごはんを中心とした食生活改善 ②早寝早起き運動の推進 ③安全・安心な農産物の供給、提供 ④地産、地消の推進 ⑤食育推進の強化 ⑥米文化の継承の6項目を基本方針としている。条例に強制力はないが健康づくりに大きく貢献すると思う。本市でも100年後の子供たちに朝食摂取率100%を確実に引き継ぐ為に「朝ごはん条例」の制定は考えられないか。

条例制定は考えていない

市長 親が子どもへの愛情のもと当たり前でできる家庭をつくることとが心身ともに健全な本市の子供たちの育成につながる。食育や早寝早起き朝ごはん運動の推進等、PTA活動も支援していきたい。

4台AED設置予定

市長 平成19年度当初で予算計上し、本庁及び各支所と各イベント時の救護用の計4台、設置する予定である。AED講習を取り入れた普通救命講習会を大隅管轄地区消防組合南部消防署と連携し、積極的に啓発していきたい。

AED(自動体外式除細動器)導入は図られたか

問 AED導入について消防組合と関係機関との協議結果はどのようだったか。



自動体外式除細動器

観光資源の開発が重要



東 議員

東 宏二議員 本市の観光資源は整備されていない。今回起きた「さんふらわあ」が撤退する問題からしても、今後の観光資源の開発が重要だと思うが、市長の基本的な考え方を問う。

海や山の観光資源を活用する

市長 基本的な考え方として、本市の特色ある海や山の観光資源を活用し、見る、触れる、味わうなどの体験を楽しむグリーンツーリズム等の体験型観光の推進をしていく。

林道の整備を

問 松山町の宮田山はパラグライダー基地として、観光資源でもある。この基地までの宮田山の林道を整備する考えはないか。

また、農業公社を活用した体験型農園、オーナー制など農産物を活用する考えはないか。

市長 松山のパラグライダーの大会に案内を受け、参加させていきたい。宮田山のパラグライダー基地が、南九州地域で有数の地域であれば振興に尽力したい。また、農村の中に観光資源を見出していきたい。

観光案内板の設置を

問 滞在型観光として、運の郷の民泊がある。有明には神社も多いと聞いているが、観光案内板はあるのか。

案内板を整備していく

市長 旧有明町時代から一生涯、観光振興に努めてきた。有明地域は、豊かな農村の中の観光拠点、グリーンツーリズムが主体になる。農業歴史館、道の郷民宿村誘致を進め、観光振興を図っていく。案内板は県の事業

で整備していきたい。

高千穂牧場の誘致を

問 志布志町夏井のゴルフ場跡地を旧志布志町が取得している。観光は民間の力を活用して開発が必要と思う。これは提案であるが、高千穂牧場を誘致すると、タグリ周辺の観光にも相乗効果が出て来ると思うが、誘致する考えはないか。

市長 タグリ岬の背後地に広がる照葉樹林を見た時に、良い所だ、開発をした方がいいと勧めがある。議員提案の高千穂牧場のようなものがあればいいと個人的に思っている。しかしながら、あの土地は虫食いの状態で造成すればかなりの経費がかかる。ある程度、規模を制約する可能性があるが、商工観光戦略会議の中で協議していく。

とどろ渓谷を観光に

問 安楽の曲瀬・中島地区の、とどろ渓谷には石畳があり、また、関の尾

の滝の窟穴群より素晴らしい窟穴群が存在している。子供達も川遊びも出来、良い景色で泳が泳ぎ水辺の楽園である。道路の思い所があるが、整備すると観光資源になる。開発する考えはないか。

市長 私も知らなかった。是非、見に行きたいと思う。安楽川渓谷とどろの近くの地域の方々や、関係部所等、教育委員会と相談しながら、観光資源として前に進んでいくとすればいい。

商工行政について



とどろ渓谷(志布志町中島地区)

問 志布志支所近くには、商店や飲食店が多い。合併後は、職員数百人余りに減って、商店街は火が消えたように見受けられる。店主の声も大変で不安であると言われる。その中で、ハローワークのアーシア移転の議案が出ているのは、矛盾していると思う。商店街の方から反対の要望書が出ている。ハローワークを支所に移した方が商店街活性化になると思う。また、志布志町は、密貿易の町として栄えてきた。各団体に協力をいただきたいながら、密貿易市を月に一回程度できないか。

市長 商店街活性化は具体的な策は思いつかない状況であるが、協議会予算を計上し、商工観光戦略会議を立ち上げた。商店街の振興に真剣に取り組んでいく。ハローワーク移転は商店街の代表と話した。理解していただきたと思う。密貿易については表現が悪いがタックスフリーといった形で、なにがアピールしたいと考えている。

第二の夕張市にならないために、 企業会計的手法を導入せよ



下平 議員

企業会計的手法を導入できないか

下平 晴行議員 負債額63.2億円、財政再建団体の指定を申請した夕張市は、企業が撤退していく中、ホテルやスキー場を市が買収して、公社や第三セクターを企業に換わって経営し、採算性を無視して事業を展開してきた結果である。また、15年前から前買財政破綻し、粉飾してこまかに問題を先送りしてきた市や議会の責任は重大である。このようなことから、第二の夕張市にならないために、企業会計的手法による貸借対照表（バランズシート）、行政コスト計算書、キャッシュフロー計算書等の導入はできないか。

先進自治体を参考に検討する

市長 今回の夕張市は財政収支が赤字でも、表に出たのではない負債が原因で財政破綻した。更けの負債等の状況および行政サービスに要したコスト状況の把握不足が指摘されている。これらに対応するためにも企業会計的手法は有効であることになり、先進自治体を参考にしながら検討する。

広告事業を導入できないか

問 財源確保の一環で、ホームページや公共施設等、広告事業を導入できないか。

可能なものから逐次導入していく

市長 借財は財源確保として、まずは市の広報誌に広告を掲載し、広告料収入を得ることができないか具体的に検討している。ホームページや公共施設などの活用を検討し、可能なものから逐次導入していく。

悪質な滞納者に、行政サービスの制限を

問 納税等に対する市民の不公平な現状を解消するため、納入できないのに納入しない悪質滞納者に対して行政サービスの制限を課すべきだと思うがどうな。

行政サービスは制限をすべきだ

市長 市単独事業等については、条例・要綱等を定め、支払い能力がありながら滞納している者、納税に著しく誠実性を欠いた滞納者に対しては、権利と義務の観点からできることならば行政サービスを制限すべきである。

補助金の見直しをすべきであるがどうか

問 補助金制度改革に取り組むために、補助金制度改革委員会を設置して、公正で実効性の高い制度を目指し、また、提案公募型補助金の取り組みをしている先進自治体があるが、このような見直しはできないか。

行政改革推進委員会の意見を聞き進める

市長 補助金見直し方針の作成、交付基準・審査基準の作成、各補助金の成果の市民への公表など、平成十九年度中に方針を決定し、廃止を含めた見直しを行政改革推進委員会の意見を聞きながら順次進めていく。

学校管理者について

問 単身赴任の学校管理者がいるが、今、いじめやいさやまの問題が山積している中で保護者との信頼関係や地域との連携に取り組むべきではないか。

単身赴任を解消していく

教員長 学校は、子供がいて、そして保護者、地域の方々がおられ、始めて質の高い教育活動が提供できる。地域の中心的存在として活気ある教育活動のためにも、できるだけ単身赴任を解消して、地域行事など、機会あるこ

とに、配偶者や家族と一緒に参加していろいろなことと指導していきたい。

志布志支所の空きスペースの取り組みは

問 志布志支所の課等の配置を整理して、空きスペースを商店街活性化に活用できないか。また、職員をはじめ市民が市内で買物をする取り組みはできないか。

職員の商店街活用を指導していく

市長 課や係の統廃合を含めて、スペースの見直しをしていく。空きスペースについてはフロアシートを立ち上げ、会議室も支所で開催するようになっている。また、職員は率先して、市内の商店街活用を図るよう指導していく。



松山町、志布志町、有明町の3
か町が合併し、志布志市が誕生し
て一周年が過ぎましたが、市民の
皆様は合併したことをどのよう
に考えておられますか。

合併協議の中で、負担は軽く、
サービスは厚くの方針で3か町の
事務事業の見直し協議が進
められたことは、市民の
多くの方が周知のいた
であります。

しかしながら、合
併したからといって
市の財政が豊かに
なった訳ではありません。

行財政改革の最
たる改革が市町
村合併であるとい
われています
が、合併したこ
れからが本当の行財
政改革です。

昨年は祭りや色々
な行事等を通じて、市
民の方がそれぞれにお
いて交流がなされたと思
いますが、さらにそれぞれの
地域が融和と協調を大事に、お互
いを知る活動をしなければならな
いのではないのでしょうか。

寄席の場で、江戸町奉行の大岡
越前守忠相の名裁きとして有名な
「三方一両損」の断があります。

議員控室

「三方一両損」

丸崎幹男



内容は、左官の金太郎が拾った財
布に印形と書き付けと3両が入っ
ていたので、書き付けから隣町の
大工の古五郎と分かり届けて、
「落とした財布を届けてやった」
という、「書き付けと印形は俺
の物だから貰うが、3両はもう俺
のものではないので、やる
から持って帰れ」とのけ
んかの仲裁に、大岡越
前が1両出して双方に
2両ずつ渡すとい
う名奉行のお裁きの断
です。

それぞれの言い
分を主張してい
ても結論を見出すこ
とは出来ないの
で、相手を理解し、融
和と強調を大切に
「三方一両損」の精
神で、今後の志布志
市の行財政改革を推
進していかねば
ならないと、合併して
一周年を迎えた元旦の朝
に考えを新たにしたいこと
です。



議会を傍聴してみませんか

三月の定例会が始まります。
一般質問等もありますので、市
民が選んだ議員が議場でどんな
発言をし、市当局はどんな政策
を考えているのかを自分の目と
耳でお確かめください。

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入し
ていただくだけです。
- 本庁3階までお越しください。

編集後記

★志布志市も合併し、早くも一周年が経
過しましたが、議会も2回の臨時会、
4回の定例会が開催され、陳情25件
認定29件、承認26件、議案168件
を審議してまいりました。

★また、一般質問は、三月定例会に11
議員、六月定例会に14議員、九月定
例会に14議員、十二月定例会に17議
員が登壇し、活発な政策議論をおこ
ないました。

★このように一般質問や議案審議を通
じて、市民の負託に応えるべく議会
活動が進んでおります。

★今後も、33名の議員が皆様の声や心
を大事にしなから、地方分権の推進
が図られる中で共生、協働のまちつ
くり、安心・安全なまちづくり、地
域社会の発展や住民福祉の向上に努
めてまいります。

★本年も市民の皆様への議会に対する、
ご支援を、お願いいたします。

広報等調査特別委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 小野 広 |
| 副委員長 | 鶴迫 京子 |
| | 西江 園明 |
| | 坂元 修一 |
| | 迫田 正弘 |
| | 立山 静幸 |
| | 長岡 耕二 |
| | 岩根 賢二 |
| | 立平 利男 |